

ふれあいメッセージ

4



千代田町青少年育成推進員連絡協議会

子どもの部

ひとりでも、

声をかけてくれる友達がいるって、うれしい！
(小学五年)

仲間はいっしょに笑いいっしょに遊ぶ仲間だ。

いじめるためにいるのではない大切な仲間。
(小学五年)



どんな時でも一緒にいてくれる友達

それがぼくにとつての宝物。(小学六年)

ぼくは絶対に友達をいっばいつくる。

そのために産まれてきたんだよとぼくは絶対に言える。(小学六年)

いじめられてた時、助けてくれた友達。

今は親友です。(中学一年)



仲間がいるだけで人は無限大の力がでる。

それってすごいことだと思いませんか。(中学二年)

いじめられた時に友達の一言「大丈夫」

(その時私は、仲間がどれほど大切なものか感じた。)(中学二年)

仲間に支えてもらって、ここまで強くなりました。

だから今度は僕が支える番だね。(中学二年)



仲間がいるから笑えるね。友達がいるから涙がでるね

友達いるから輝ける明日があるね!! (中学三年)

共に泣き、笑い、支えあえる。

そんな大切な仲間に出会えてよかった。ありがとう。(中学三年)

体育大会は優勝! 更新では最優秀賞! 最高の思い出が沢山できた。

1組のみんなありがとう (中学三年)



あの仲間と、あの場所で、あの先生の下、

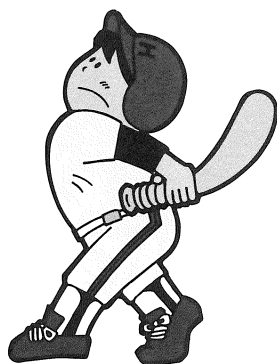
白球を懸命に追いつけた日々を僕は忘れない。(中学三年)

あきらめなくて、よかった。逃げなくて、よかった。

最後の夏、仲間と泣けてよかった。(中学三年)

何もかも見失っていたあの頃、光を浴びさせてくれたのは、

仲間達でした！(中学三年)



「お母さんなんてきらい！」そんなことも言ってたね。

でも大好きだよ！お母さん。（小学五年）

私はお母さんがいなかったら私は生れてません。

お母さん私を産んでくれてありがとう。（小学五年）

ぼくはたくさん言えるよ。やさしいところやきづかってくれる

大好きなお母さんのことを。（小学五年）



「ただいま」家に帰るとおかあさんがいる。ほっとするよ！

おかあさん！いつもありがとう！（小学六年）

お母さん無理しないで、疲れた顔見たくないよ。

お母さんの笑顔が見たいから。（小学六年）

ママにしかられて泣く自分はきらいでも

しかってくれるママはこわいけど好きありがとう。（小学六年）



お母さんにあまえなくなって三年。さみしいって言ってたけど

私あまえたい時、あるよ！（小学六年）

お母さんのかたごりの原因は、

家族のためにがんばってくれている証だよ。ありがとう。（小学六年）

お母さんの手帳に私が6才の時に書いた手紙が

はさんであつたのを見て、うれしかった。（小学六年）



「朝ご飯食べなよ」このお母さんのいつもの口ぐせが

なくなつて2日。もう一度、母に会いたい。(中学一年)

私の誕生日にお母さんが手紙をくれたね！

その手紙を読んでうれしくてないちゃったよ。(中学二年)

ママ。いつも私のことをちゃんと怒ってくれる・・・

それは大切にしてきている証なんだね(中学三年)



久しぶりに母さんに会って、気が付いたら、

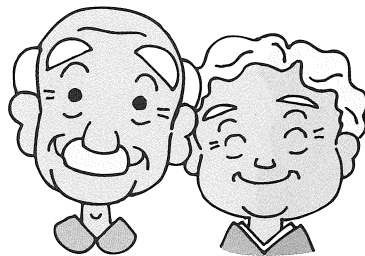
いつのまにか背を越していたんだね。(中学三年)

会いに行ったら、よろこんでくれたひいじいちゃん。

もっと会いに行けばよかったです。(小学六年)

私が迷っているとおばあちゃんが助けてくれる。

いつか私もおばーちゃんのやくにたつからね。(小学六年)



言葉は通じなくなっただけ、

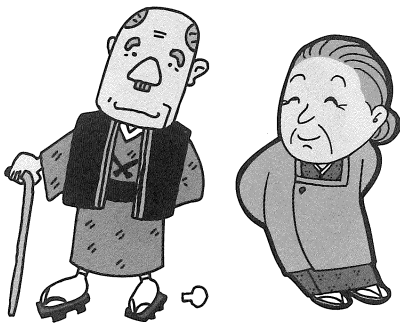
手をつなげば、心は通じるよ。おばあちゃん。（小学六年）

「合格したら焼肉だ。」約束したのにどうして急にいなくなったの、

おじいちゃん。（中学三年）

私の祖母は、半身麻痺の障害者。

それでも大切な家族の一員です。（中学三年）



突然目の前から消えたじーちゃん。

私の心の中では一生消えないよ。(中学三年)

「いつもありがとう。」だれに言ってると思うっ？

家族、友だち、先生、みんなだよ！(小学六年)

いつも、「おはよう」っていったら、

「おはよう」ってかえってくる。やさしい仲間だ。(小学六年)



たまに、帰ると、返事がもどってこない。

毎日、「おかえり」という声を聞きたいな。(小学六年)

入学式から、もう6年、友達や親に感謝して言いたい、

『ありがとう。』と。(小学六年)

登下校の時、いつもあいさつをしてくれてありがとう。

とても安心して登下校できます。(小学六年)



「ありがとう」は私の好きな言葉です。

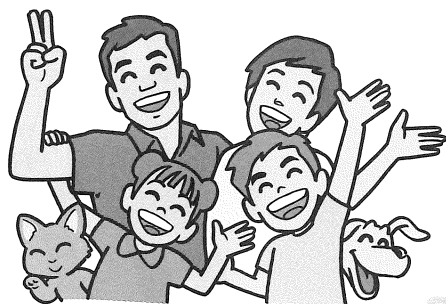
人の心を元気にするまほうの言葉。(小学六年)

「ごめんなさい」六年間も言えなくて。

胸にたまるその気持ち。今なら言える「ごめんなさい」(小学六年)

つらいとき、「大丈夫だよ」って家族が言ってくれる。

また頑張れる。(小学六年)

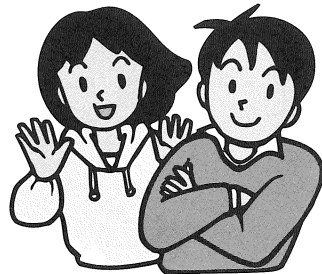


笑い泣き、そしてケンカし。

普段は恥ずかしくてなかなか言えないけどありがとう。(中学二年)

「ごめんなさい」の一言でもう一度

友達どうしやりなおすことができました。(中学三年)



毎日食べてるお母さんの手料理。あたり前って思っていたけど、

本当はすごく感謝してるよ。(小学五年)

おいしいご飯。あったかいご飯、もちもちのご飯。

家族のあいじょうたつぷりのご飯。(小学六年)

外が真っ暗になって帰ってくると

みんなが笑ってご飯を食べるっていいなと感じた。(小学六年)

自然の多い、この千代田町。

『未来も自然の多いこの町にしゃべりかけたい』と思う。(小学六年)



未来の私へ大きくなったら地域の人や

お世話になった人におんがえしできますか？（小学六年）

支え合いが無くてはいけない。

周りの人々にめぐまれているから成長したのです。（小学六年）

「おはよう」と毎朝言ってくれる地域の方。

その声で一日の元気をもらっています。（小学六年）



学校の帰り道、腹痛のぼくをたすけてくれたおばさん

ありがとう（小学六年）

僕の1日のやる気を引き出してくれる秘訣は、

地域の人が笑顔でしてくれるあいさつです。（中学二年）

「いってらっしゃい」地域の人々が声をかけてくれるおかげで、

今日も頑張れる。（中学二年）



悲しいことや辛いことあると思うけど、

ずっととなりにいるからね。(小学六年)

わたしのために泣きながら、

叱ってくれてありがとう。(小学六年)

小学校に入学して、6年。今なら言える。

仲間とは、『絆』があるかけがえない人生だ(小学六年)



今を生きる、明日を生きる、君が毎日を生き続け、次へつなぐ。

それが人をつなぐ架け橋（小学六年）

入院中、ぼくの写真をもっていたと聞いて

はすかしいけど泣いてしまいました。（小学六年）

願えば必ずかなう。願うだけでは、かなわない。

東日本が一日も早く復興しますように。（中学一年）



口きかなくてごめんね。本当は、もっとたくさん話したいけど、

素直になれなくてごめんね。(中学三年)

当たり前のようなこの景色、この日常。

「当たり前」は多分とっても貴重かも知れない。(中学三年)

人はやはり、悔しい思いも経験しないとだめ。

悔しい思い出の数だけ人としての力が増す(中学三年)



今はみんなについていているけど、これからは、

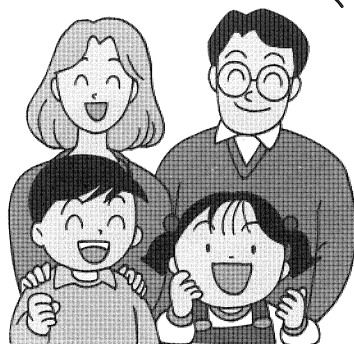
みんなを引っ張れるようになりたい。(中学三年)

今まで、これからも私を育ててくれる

お母さん、お父さん、ありがとう！大好きだよ！(小学六年)

家族は私のことを支えてくれる。

私も未来の家族を支えられるようにがんばりたいです。(小学六年)



いまゲームがほしい。

でもずっとほしいのは、『家族愛』（小学六年）

これから何年たっても何十年たっても、この家族で過ごした時間は

永遠に私の宝物だよ。（小学六年）

家族が泣いているとこみると悲しくなるよ。

だから笑っていいよね。（小学六年）



「頑張り！無理すんな」 って言ってくれる

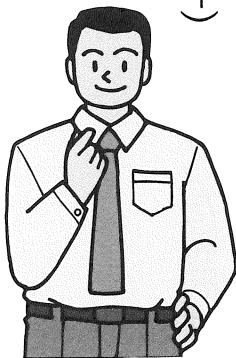
両親が頑張りすぎてる。「私は大丈夫だよ！」（中学三年）

おとうさんを見ていてにているところをみつけたよ。

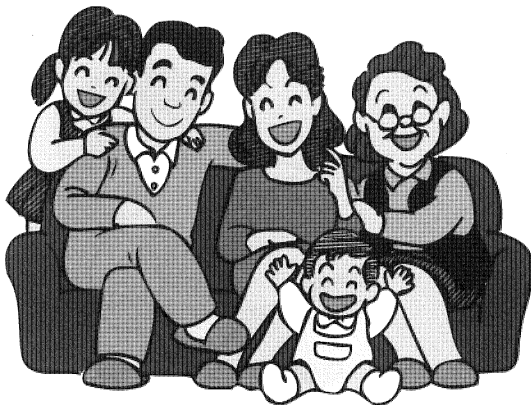
それはわらったかお。うれしかった。（小学六年）

お母さん、お父さんいつもありがとう。

いつまでもけんこうで元気でいてください。（小学五年）



大切な家族とともにすごす日々。いつもは気恥かしくて
言えないけどいまなら言える。好きだよ。(中学三年)

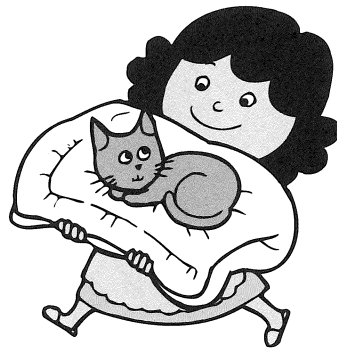


大人の部

息子は母ちゃんがしんだらオレも死ぬと言った。

ダメなんだけど・・・最高に嬉しいよ！

母は、毎日を頑張る夫と子供たちの応援団長で在り続けることを、
ここに誓います！



子供が夢に向かって頑張っている姿を見て、
頑張れ！と声をかけてあげたい。

我が子よ！いつも怒ってばかりいるけど、

お母さんはあなた達のこと大好きです。

子供たちを送り出し、家事を済ませ仕事に行く、

この当たり前の生活が幸せなんだよね。



生まれた次の日に救急車で運ばれて心配したけれど、

元気に育ってくれて、ありがとう!!

家でグダグダな子供達。外で頑張っている証拠。

これからも一生懸命頑張って!

悩みがあったら、大人の誰かに相談してみてね。

きっと別の方法が見つかると思う。



親になって12年。今頃父の大きさに気付いた。

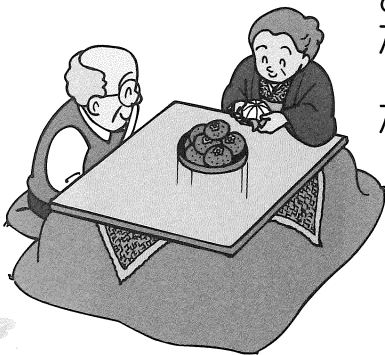
私の酷い態度、見守ってくれてありがとう。

父の心の声、聞こえなかった。

「呼ばなくていい」は「皆に会いたい」と言うことだった。

母さんに無性に会いたくなる時がある。

いつまでも大好きな存在だよ、母さんて。



お父さん、いつもありがとうございます。これからも毎日楽しく、
年をとっても笑って行こうね。

親になって始めてわかった。いつも見守ってくれた愛。

お母さん、ありがとう。

お父さん。最後に一言、ありがとうございますと

素直に伝えたかった・・・



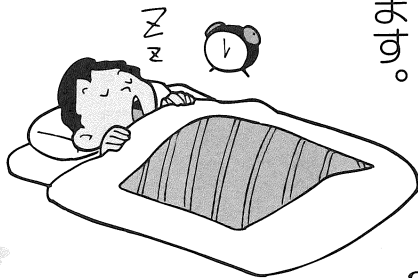
一泊二日で出かけた家族旅行。

娘の成長を夫婦で感じながらいつまで一緒にいけるかな？

思いやりを大切に、人に優しいあなた、だけど、くじけてしま
うあなたを見ると勇気づけたくなり抱きしめたくなります。

家族の笑顔。毎日の朝の挨拶で始まり、

夜のおやすみで終わる。そんな一日が幸せです。



あとがき

東日本大震災・長野県北部地震から二年が過ぎようとしています。『絆』という言葉で日本がひとつになったことを忘れてはならないと思います。

しかしそんな思いとは裏腹に、子どもたちを取り巻く環境は相変わらず良い物とは言えません。携帯・インターネット上の犯罪、いじめによる自死、スポーツ界での人権侵害等挙げれば切りがありません。未成熟な大人たちは何故子どもの人権を認めないのでしょうか？一人の人間として認めるべきです。

講道館創始者加納治五郎先生の教えは『精力善用 自他共栄』相手を敬い、感謝することで信頼し合い、助け合う心が育まれるとし、また個人の持つ力を良い方向に効率良く使うことが人類全体の平和に繋がるという趣旨です。

第四集となる「ふれあいメッセージ」を家族や友だち同士で読んでいただいて、同世代の、同じ境遇の人々の考え方や思いを何かに活用出来るようであれば、ありがたいことだと思えます。

メッセージをお寄せいただいた多くの皆様に御礼を申し上げます。

二〇一三年三月

千代田町青少年健全育成推進連絡協議会

会長 近藤 千秋



発行日 平成25年3月

発 行 千代田町青少年育成推進員連絡協議会
〒370-0503

群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩1701-1

千代田町民プラザ内

TEL:0276-86-6311 FAX:0276-86-6336